

に「固ヨリ時勢ノ要スル所ナレバ、急ニ應シ、捷徑ヲ取ル等ノ事モ、今日免ル可ラザル事ナリトハ雖ドモ、總テ學問ニ從事スル以上ハ、ナルタケ直接ニ當世ノ事ニ拘ハラズトモ、各其科學ノ深遠ナル理ヲ極メ、無用ノ事ニ類スルモ、理ヲ講明スル爲ニハ徹底ノ見解ヲ要シ、特別ノ衆理ヲ聚メテ一貫ノ元理ニ歸スル如ク、所謂江海ノ浸、膏澤ノ潤ノ如ク、左右其源ニ達フノ地ニ至ルベキナリ」蓋シ講學ノ上ニ在テ、前ナル實驗ト後ナル淵源ヲ深ウスルトハ、遊カニ見レバ兩ツノ者相反スルガ如クナレドモ、實ハ兩相待テ、他國ノ學術ト云フ者、始メテ自身自國ノ用ニ供スベキナリ」故ニ一ハ實驗ヲ主トシテ生疎ヲ免レ、一ハ淵源ヲ深ウシテ精微ニ至ラバ、則チ後生ニ至テ新理ノ發明者與ラザルヲ患ヘムヤ。是余ガ後生諸賢ニ望ム所ナリ」といつてゐる。まことに今日の我が國の哲學はこの先覺者の遺託に副ふところがなないではない。しかし今後の一層の發展が先輩の教へに従つてなされなければならないやうに思はれる。(岩波書店刊行、限定四百部、定價四圓)

(小野隆祥)

## 彙報

### 京都哲學會公開講演會

豫告の如く、昭和八年度の公開講演會は去る十二月二日土曜午後一時半から法學部第四教室に於て開かれた。當日は稀な快晴と溫暖とに恵まれ、宏壯な法經新館の大教室も眞摯な聽衆で充ち溢れ成功裡に午後五時閉會した。講演の題目と講師とは次の通りである。

#### 感情研究の新展望

東京帝國大學助教 高木 貞二氏

#### アナログア思想の位置

京都帝國大學教授 山内 得立氏

尚ほ右の講演は共に、近く本誌上に請うて掲げる筈である。

講演會終了後、六時から教官食堂に於て、兩講師を主賓として晚餐會を開いた。來會者は講師の外に三十一氏、臺北の伊藤教授をはじめ遠地の諸

君も多數出席された。會食後、自由に現在の研究を語つたり、將來の抱負を述べたりして、楽しい一夕を送つた。

哲學茶話會

昭和八年十二月十二日(火)樂友會館に於て

基礎的存在論に於ける歴史の問題

勝川守一君

心理學讀書會

十二月七日(木)心理學教室に於て

大きさの恒常性について

伊吹山太郎君

十二月十四日(木)心理學教室にて

禪の心理

安宅孝治君

十二月二十一日(木)第十八教室に於て

韓兒についての齒牙傳導の實驗

星野行恒君

倫理學讀書會

十二月一日(金)第一演習室に於て

Heidegger: Vom Wesen des Grundes

川村喜久治君

十二月八日(金)第一演習室に於て

平田篤胤に於ける孔子觀の變遷

室田泰一君

十二月十五日(金)第一演習室に於て

Fichte: Erste Einleitung in die Wissenschaftslehre und

Versuch einer neuen Darstellung der Wissenschaftslehre  
中林嘉太郎君

美學會

十二月十六日(土)樂友會館に於て

音樂に於ける内容の問題

張源祥君

美學讀書會

十二月十七日(木)第一演習室に於て

音樂に於ける形式の諸要素(メルスマン)

原俊兒君

十二月十五日(金)美術研究室に於て

Adolf Behne: Der moderne Zweckbau

入澤博愛君

社會學讀書會

十二月一日(金)樂友會館に於て

輿論の考察

林炳耀君

寄贈圖書

岩崎勉譯 プレンタノ アリストテレスの存在論

東京理想社出版部 定價金貳圓七拾錢

村上寬逸譯 コーヘン 純粹意志の倫理學

東京第一書房 定價金貳圓八拾錢

## 寺田彌吉譯 アロイス・ミューラー 最新哲學概論

東京第一書房 定價金貳圓

佐々木秀一 共著 哲學物語 前編後編 東京モナス 定價各壹圓五拾錢

寺田彌吉 編 早稻田大學文學部編 哲學年誌 フイロンファイア 第三卷

東京理想社出版部 定價金壹圓

立教大學哲學研究室刊行哲學パンフレット

第七輯 金子武藏著 生存の辨證法

第八輯 菅圓吉譯 フルンナー 哲學の神と哲示の神

東京立教大學哲學會 定價各冊金貳拾錢

Ryo Kuroda: Some observations on a Korean frog caecopides tonleri (Vogt). Reprinted from Acta Psychologica Keijo, Vol. II, No. 2, 1933.

Ryo Kuroda: Studies on visual discrimination in the tortoise elanmys japonica. Reprinted from Acta Psychologica Keijo, Vol. II, No. 2, 1933.

## 寄贈雜誌

昭和八年十二月號 哲學雜誌、丁酉倫理會講演集、學校教育、唯  
 物論研究、勞作教育研究、信濃教育、奈良縣教育、職森指導、社  
 會學徒、生理學研究、哲學改造、大東、法華、國維、願慧、顯真、呂